

## 名称決定に至る経過

### 1 募集の趣旨

現在建設中の施設に対して愛着・親近感を持ってもらうとともに、知名度向上を目指し、施設名称を一般公募により付与すること。

### 2 募集期間

平成 30 年 7 月 2 日（月曜日）から 8 月 16 日（木曜日）まで

### 3 応募作品数

927 作品（市内 685 作品、市外 242 作品）

※市外の都道府県は、北海道、秋田県、茨城県、栃木県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、福井県、山梨県、長野県、静岡県、愛知県、大阪府、兵庫県、山口県、徳島県、福岡県、長崎県、宮崎県  
大分県（大分市、別府市、臼杵市、津久見市、国東市、由布市、日出町）

### 4 名称及びシンボルマーク選考委員会（委員 6 人）

	氏名	所属・職名
1	ねのき えいじ 根之木 英二	・大分県立芸術文化短期大学 名誉教授 ・別府大学文学部 国際言語・文化学科 特任教授
2	しば た ひさし 柴 田 久	福岡大学工学部社会デザイン工学科 景観まちづくり研究室 教授
3	かとう やすひこ 加 藤 康 彦	大分県立美術館 副館長
4	いけ だ のりこ 池 田 典 子	わくわく大手前隊 副隊長
5	ふじ むら まさこ 藤 村 雅 子	佐伯市立昭和中学校 教諭
6	あだち たかひさ 足 立 尚 久	佐伯市地域振興部付専門幹

### 4 選考委員会による選考の経過

(1) 第 1 回会議（9 月 12 日（水曜日）開催）

選考基準及び選考方法を決定し、第 1 次選考として、10 月 3 日（水曜日）までに各委員が 927 点から 5 点以内を選考することとした。

- (2) 第2回会議（10月4日（木曜日）開催）  
第2次選考として、第1次選考作品 29 点を選考し、市長へ報告する名称候補作品を内定した。
- (3) 市内に所在する中学校及び高等学校の生徒による投票  
投票期間は、11月1日（木曜日）から同9日（金曜日）まで  
投票結果は、別紙のとおり
- (4) 市長へ名称候補選考結果を報告（11月13日（火曜日））  
（2）の名称候補作品に（3）の得票数順による順位を付し、市長へ報告した。

# 新しい建物の名称

## 中・高校生による投票結果



▲完成予想図

佐伯市内に所在する中学校12校及び高等学校3校の生徒に御協力いただきました。

投票総数3,105票（有効投票3,086票 無効投票19票）

名称候補とその意味や付けた理由		得票数
カブトホールさいき	佐伯のシンボル城山を仰ぐ位置にあり、建物の外観・形状が兜（カブト）をイメージしているのでいかしたい。 佐伯城は実戦を意識した最後の総石垣の山城。石垣と毛利高政、カブトで佐伯を売り出したい。 城下町佐伯を特徴づけるものとして、他所にない特異性をもった名称にして全国に呼びかけたい。	306
キーサさいき	今後の佐伯市の鍵（KEY）となる建物になってほしい。 佐伯市内外から多くの人を訪れるよう、気軽に招待する感じで「来いよ」の意味を込めた。 佐伯弁、こっちに「来（き）いーさ」と佐伯（さいき）を反対にした言葉	174
ネオーテさいき	大手前の「おおて」の響きをいかす形で、ギリシア語で「新しい」を意味する「ネオ（neo）」を掛け合わせた「ネオーテ」という造語で、子供から高齢者の方まであらゆる人に新しい出会いとワクワクする発見を感じていただける場となるよう思いを込め、複合施設の魅力と特徴を印象的に表現した。	486
さいき城山桜ホール	国木田独歩の作品の一節にあるように、城山は佐伯市の象徴だと思う。 城山を仰ぎ見る大手前に市民が集い、歴史や文化芸術を学び、様々な交流が生まれる場として、最もふさわしく、親しみやすい名を考えた。 和風な外観ともマッチし、桜の名所も近く、市の花であるヤマザクラとも掛けた。	1,233
パラデイさいき	フランス語で「楽園」を意味する「パラデイ」を用いた。	887